

花と灯りでまち彩る「歩花灯」設置



歩花灯のスタンドに花のプランターを取り付ける商工会員

花のプランターとライトが付いたスタンドを並べて町内中心部を彩る「歩花灯」（ぼかつと）の設置作業が6月11日、妹背牛商工会

館の周辺で行われ、商工会の女性部（夏井坂千秋部長）・青年部（野田章平部長）の部員らが作業に汗を流しました。プランターを取り付ける鉄製のスタンド110基を設置。白や黄色など色鮮やかな花を植えたプランターを取り付けた後、参加者たちは、町内中心部の清掃活動も行い、景観を整えました。

新演舞で魅せる リムセが札幌の舞台へ



メインステージで観客を魅了する「リムセ」のメンバー

北空知近郊を拠点に活動するYOSAKOIチーム「もせうしRIMUSE（リムセ）」（岡田康夫代表）は、6月上旬に札幌市の大通公園周辺で開かれた「YOSAKOIソーラン祭り」に出場し、力強く華やかな演舞を披露しました。本番に向けて練習を積み重ねてきたメンバーは、躍動感あふれる踊りを全7会場で披露。会場ごとに観客から温かい拍手と大きな声援が送られ、祭りを盛り上げました。

ベトナムの伝統菓子作りに挑戦



協力隊員のリンさん（左）から、伝統菓子の作り方を学ぶ参加者たち

ベトナムの文化や暮らしへの理解を深めてもらうイベント「ベトナム文化に触れてみよう！」が5月に開かれ、参加者たちがベトナムの伝統的なお菓子「卵巻きせんべい」作りを楽しみました。参加者たちは、ベトナム地域おこし協力隊員のフォンさんとリンさんから作り方を教えてもらい、米粉やココナツミルクなどを使った生地作りに挑戦。甘い香りが広がる室内で、異文化への理解を深めていました。

泥んこになって田植え体験



田植えを体験する児童

妹背牛小学校の3～5年生は5月18日、ふれあい農園で田植えを体験しました。農業の大変さや食べ物の大切さを学んでもらうことが目的。農業技術指導員の佐藤悟さんが「苗は1、2センチの深さに植えて」などとアドバイスをしました。はだしで水田に入った子どもたちは、ぬかる足元に苦戦しながらも、一株ずつ丁寧に「ななつぼし」の苗を植え、土の感触を楽しんでいました。

牧場見学と野菜植え体験 学び広がる園外活動



野菜の苗を植える園児たち



牛の頭をなでる園児たち

認定こども園妹背牛保育所の園児たちが5月下旬から6月上旬にかけて、牧場見学と野菜の植え付け体験を行い、動物や農作物への理解を深めました。

5月22日、妹背牛牧場を訪れた園児たちは、ストレスを与えない環境で育つ牛の大きな体に興味津々の様子。えさをあげたり、頭をなでたりして、牛舎で伸び伸びと暮らす牛と触れ合いました。

最初は大きな牛に驚く子もいましたが、次第に慣れ、帰る時には「牛さん、バイバーイ」と手を振っていました。

6月4日には、園舎近くの畑で、野菜の苗を植える体験活動を実施。有機農業に取り組む株式会社「ファーマーズ・クラブ雪月花」の協力を受け、ジャガイモやニンジン、トマトなど6種類の野菜を植えました。園児たちは「大きく育ってね」と声をかけながら丁寧に苗を植え、生長や収穫の日を楽しみにしていました。

建設業協会が危険木を伐採



樹木の伐採に取り組む作業員

妹背牛建設業協会（天間敏幸会長）は6月12日、妹背牛中学校敷地内で白樺の伐採作業をボランティアで行いました。社会貢献活動の一環。倒木の危険があった樹木を取り除き、生徒や教職員の安全確保を図るため実施しました。会員14人は、推定樹齢60年ほどの白樺4本を伐採。作業は約3時間にわたって行われ、伐採された高さ約15メートルの木は4メートル2台分にもなりました。

台湾の生徒 農村地域で交流



モルックを楽しむ台湾の生徒たち

台湾・台北市の私立景文高級中学の生徒4人が5月28日から1泊2日の日程で妹背牛町を訪れ、地域住民と交流しました。受け入れを担った「元氣村・夢の農村塾」のメンバーとともに、生徒たちは教育旅行の一環として北空知地域を巡り、農村文化に触れました。また、夕食ではジンギスカンを味わい、交流会では木の棒を投げるスポーツ「モルック」を楽しみました。

戦没者しのび 忠魂碑前で追悼式



忠魂碑に献花し、戦没者の冥福を祈る参列者

戦没者追悼式が6月15日、妹背牛神社境内にある忠魂碑前で行われ、遺族や関係者ら42人が戦没者の冥福を祈るとともに、恒久平和への願いを新たにしました。

忠魂碑には173柱の英霊がまつられています。参列者は一人ひとり献花し、先の大戦で犠牲となった人々をしのびました。献花後には、町遺族会（柳良信会長）の中落時雄副会長が謝辞を述べました。

焼き肉を囲み 親睦深める



焼き肉祭りで乾杯する参加者たち

妹背牛町老人クラブ連合会（古川隆夫会長）は6月17日、遊水公園うららで毎年恒例の「焼き肉祭り」を開き、参加者80人が親睦を深めました。

この日は好天に恵まれ、参加者たちはパークゴルフで心地よい汗を流した後、焼き肉祭り会場のビニールテントへ。古川会長のあいさつの後、ビールを手に焼き上がった肉や野菜を味わいながら会話に花を咲かせ、和やかな時間を過ごしました。

労働災害・交通事故ゼロへ



参加者たちが安全意識の向上を図った建設産業安全大会

令和8年度の「建設産業安全大会」が6月18日、妹背牛商工会館で開かれました。会員25人が参加し、労働災害や交通事故の防止に向けて安全意識を高めました。

妹背牛建設業協会が主催。大会では、天間敏幸会長が「現場で働く全ての仲間が家族の元に帰るといふ当たり前の道を守り続けることが私たちの責務です」とあいさつし、安全管理の重要性について呼びかけました。

とちのみ 10周年記念ライブ



会場を盛り上げたライブ

青空自主保育「とちのみ」の活動10周年を記念した「わかち愛ライブ」が6月13日、わかち愛もせうしひろばで開かれました。

会場では、アーティストによるライブや紙芝居が披露され、来場者は音楽や語りにも傾けながら楽しい時間を過ごしました。13組の親子を紹介する「いのちの写真展」も開催され、10年の歩みに思いを寄せていました。